

# 一般質問提出案件

平成29年第3回智頭町議会定例会

質問 順位	質問者	質問の要旨	答弁を 求める者
1	河村 仁志	<p>1. 安心して住み続けられる地域づくりについて (企画課・福祉課)</p> <p>(1) 智頭町らしい福祉施策も取り入れた生活支援をどの様に考えているのか。</p> <p>(2) 福祉懇談会で各地区で説明されたと思うが、どのような課題がありその対応はどの様に考えているか。</p> <p>(3) 定住対策として、環境整備と支援策は、住宅改修助成の継続計画はないか。</p> <p>2. 災害時の交通確保について (教育課)</p> <p>(1) 豪雨、豪雪時による通学運行確保の対策はどの様に取組まれているか。</p>	町 長  教育長
2	酒本 敏興	<p>1. 「駅前商店街」の振興対策について (企画課)</p> <p>(1) 地域社会に密着した商店街の役割と機能について、その所信を聞く。</p> <p>(2) 商店街の現状と課題について 人口減少や後継者不足に空き店舗の増加等々、劣勢に立たされる状況をどう認識されているのか。</p> <p>(3) 新たな商店街の振興対策について 商店街の組織体制と振興整備が急務、商業や観光振興等と連携する、ソフト・ハード面の積極的な自治体支援を必要とする考えはないか。</p>	町 長
3	高橋 達也	<p>1. 町民体育館の今後の管理運営方針について (企画課・教育課)</p> <p>(1) 賃貸借契約の解約合意書を締結している相手方との明け渡し期限(7月末)が経過したが、不履行の状態が継続していることに対する現状認識はどうか。</p> <p>(2) 従前に町民体育館を利用していたスポーツ関係団体の活動対応実態と、町民体育館への利用再開要望の状況はどうか。</p> <p>(3) 今後の曲折はあろうが、基本的には従前どおりに社会体育施設として管理運営すべきと思うが、どのように考えているか。</p>	町 長 教育長

# 一般質問提出案件

平成29年第3回智頭町議会定例会

質問 順位	質問者	質問の要旨	答弁を 求める者
3	高橋 達也	<p>2. 新田サドベリースクールへの対応状況について (教育課)</p> <p>平成27年6月議会質問のその後</p> <p>(1)「保護者に粘り強く学校復帰を伝えていく方針」 との教育長答弁であったが、その後の対応状況は どうか。</p> <p>(2) 就学義務を果たしていない状態が継続している ことは極めて不正常であるが、今後どう対応する のか。</p> <p>(3) 本件に対する(改正後の地方教育行政法下にあ る)町長の見解はどうか。</p>	町 長 教育長
4	大河原 昭洋	<p>1. 地域おこし協力隊について(企画課)</p> <p>都市部など地域外の人材を地域の新たな担い手と して受け入れ、地域力の維持・強化を図る目的で 制度化された。</p> <p>(1) 本町では今年度6年目を迎えているが、これま での課題と評価をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 今後の活用方法として、どのような展開を考え ているのか。</p> <p>2. 国道53号智頭トンネル土砂流出における交通規制 について(総務課)</p> <p>5月31日に発生した市瀬地区の土砂流出から3 か月が経過した。智頭トンネルは片側交互通行で対応 しているが、8月7日には台風5号の大雨の影響で智 頭トンネル、鳥取道ともに全面通行止めとなった。 両幹線道路は住民の日常生活の基盤であり、今後、支 障をきたさぬためにも具体的な対策が急がれる が、どのように進めるのか。</p>	町 長  町 長

# 一般質問提出案件

平成29年第3回智頭町議会定例会

質問 順位	質問者	質問の要旨	答弁を 求める者
5	安道 泰治	<p>1. 災害に強いまちづくりについて（総務課・企画課）</p> <p>(1) 国道53号線市瀬地区の土砂流出に伴う交通規制により本町の暮らしを支える基盤が根本から揺らいだ現状について、抜本的な対策と未来に引き継ぐ長期的な施策について。</p> <p>(2) 災害時及び緊急時における町民への情報提供について。</p>	町 長
		<p>2. 那岐山登山エリアにおける施設整備について（企画課）</p> <p>(1) 那岐山山頂付近において鳥取県側が一望できる展望台設置について。</p>	町 長
6	中野 ゆかり	<p>1. 危機管理体制について（総務課）</p> <p>(1) 北朝鮮のミサイル発射訓練が頻ぱんに行われている。もしミサイルが、日本に飛来する可能性がある場合には、日本政府から、全国瞬時警報システム（J アラート）が作動し、特別なサイレン音が鳴る。その後の行動については各自治体に任せられているが、本町の具体的な対応策を問う。</p>	町 長
		<p>2. 森林セラピーの推進について（山村再生課）</p> <p>(1) 現状を問う。</p> <p>(2) 町民及び町内企業の健康増進及び心身のリフレッシュに役立てていただけるよう、更なる推進をすべきと考えるが、今後の振興策を問う。</p>	町 長
7	岸本 眞一郎	<p>1. 智頭町総合戦略について（企画課）</p> <p>(1) 総合戦略は総合計画と連動していると思うが、第7次総合計画のキーワードが6次と変わったが、影響はないのか。</p> <p>(2) (雇用の創出) (移住定住) (出会い・出産・子育て・教育) (地域活性化) の4つの基本目標の進捗状況は。</p> <p>(3) 人口減少に歯止めをかける若者の移住定住を促進するためには、地元企業も含めた雇用の確保が重要だと思うが町長の所見は。</p> <p>(4) 施策や数値の中間的見直しをする考えはないか。</p>	町 長

# 一般質問提出案件

平成29年第3回智頭町議会定例会

8	都橋 一仁	<p>1. お米の安全性・付加価値向上について (山村再生課)</p> <p>(1) 生活習慣病予防・健康増進のために必要な食生活改善、その食の安全性向上のため、町内産の畜産肥料を町内の農業に利用推進など農業・畜産を支援する方法は様々あると思います。</p> <p>他県では杉の間伐材を畜産の飼料に利用している地域もあり、林業・畜産を支援する方法も様々あることかと思えます。</p> <p>杉の間伐材を使った飼料単体でも町外に販売できる可能性があり、所得向上による波及効果も期待出来、フィードバックして山の手入れを強化することが可能なると思えます。</p> <p>またそのような農作物が町内に流通することにより、町民の健康意識向上が期待でき、健康増進により社会保障費削減の可能性も秘めていると思えます。</p> <p>お米の付加価値を向上させるため単体でのブランディング支援に加えて、さらに付加価値を高めるためには独自性のある農作物の背景設定も重要であると思う。</p> <p>所得向上・社会保障費削減・防災も視野に入れた上で、お米の安全性・付加価値向上のため、またいつ起こるかわからない有事や災害の際に、万が一物流が遮断されても町民の命を守る食を自前で調達できる林業畜産と連携した自給自足可能な循環型農業を導入するお考えはないのか。</p>	町 長
---	-------	---	-----